湖南広域行政組合監査委員告示第4号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項、第2項および第4項の規定により定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果に関する報告を決定し、公表する。

令和3年9月30日

湖南広域行政組合監査委員 平井文雄

湖南広域行政組合監査委員 立入三千男

1 定期監査

(1) 監査の対象

監査対象機関名	重点的に監査した所属
総務部 出納室	総務課 出納室

(2) 監査の時期

令和3年8月25日（水）

(3) 監査の主眼

主なリスクとして、不適切な契約、不適切な現金及び準公金の取扱い、また、随意契約による委託業務の契約事務の適正性等が挙げられる。

今回の定期監査では、釣銭、各種手数料等の現金の取扱い等の事務手続きを着眼点として監査を実施した。

(4) 監査の結果

監査重点項目に定めた事務については概ね適正に処理されていたが、一部に改善を要する事項があると認められたので、対応願いたい。

なお、指摘事項以外の軽微な事項については、監査当日口頭で指導し改善を求めた。

(5) 指摘事項

ア 現金收受記録簿等を整備し運用されていたが、確認のための押印等に不備がある記録簿が存在したので、適正な運用に努められたい。

イ 職員互助会が受託している湖南広域行政組合職員等弔意事業の事務について、専用の預金通帳を作成し管理されたい。